

1. 総務委員会(H24.11.29)におけるご意見

No.	ご意見の概要	ご意見に対する具体的な対応状況
1	積雪寒冷地であり北方圏に位置する都市として雪を意識した施策展開をすべき。積雪寒冷地であることを一つの項目として記載すべき。	最も基本的な目指すべき方向性を位置付けた第3章「私たちが目指す札幌市の将来」において、北方圏の意識を明確に示している【ビジョン編冊子28ページ】。また、第4章「まちづくりの基本目標」において、効率的で効果的な除排雪など豊かな冬の生活を実現するための取組を掲載している【ビジョン編冊子49ページ】。さらに、戦略編においても、3つの重点分野それぞれの中で積雪寒冷地を意識した具体的な取組を検討していく。
2	パブリックコメントにおいて、一般的な広報活動の他に、意見応募を促すような取組をすべき。	広報誌での一般的な周知に加え、広報テレビ番組を活用したPRや、市内各大学に対する意見募集に係る協力依頼の他、ワールドカフェ・市民会議などの参加者への意見募集を行った。
3	キッズコメントについて、より多くの意見をもらえるよう、工夫して実施すべき。	市内全小中学校へ意見募集を配付し、授業で取り上げていただいたり、生徒会役員から意見をいただいた。また、全児童会館へ市職員が直接出向き、説明を行った。
4	低炭素社会や脱原発依存社会を目指す上で、札幌市は大消費地として北海道内の再生可能エネルギー資源を有効に活用すべき。	札幌広域圏全体の連携を深めるための中心的な役割を果たしながら、道内での再生可能エネルギーを活用していく方策を検討していく。具体的な取組の方向性については、戦略編の中で検討していく。

2. 第4回定例市議会代表質問(H24.12.5~6)におけるご意見

No.	ご意見の概要	ご意見に対する具体的な対応状況
1	それぞれの目標に対する達成レベルや数値目標を明らかにすべき。	達成目標については、戦略編で示していく。
2	都市経営上の基本的な項目の現状分析と将来推計を示すべき。	審議会や市民会議では、人口の将来見通しや市有建築物の更新需要、中期財政見通しなどの情報を使用して、議論いただいていた。一方、地方財政の将来構造に関する議論が見通せないことや、今後の経済動向も不透明なことから、長期的な収支見通しを示すことは極めて困難である。審議会においては、引き続き、市議会審議やパブリックコメント結果も踏まえながら専門的な見地からご検討いただきたい。
3	審議会の審議方法や市民への情報提供・意見聴取などを改善すべき。	
4	市民が主役の戦略ビジョンとするため、主役たる市民を支える市役所の改革についてビジョンに記載すべき。	行財政改革を進めるにあたっての基本的な方向性などについては、戦略編に盛り込んでいく。
5	戦略ビジョンにおける新たな課題へ機動的に対応するため、組織体制の検討を含む戦略的な展開が必要。	地域における保健福祉活動の充実や空き家への対応、エネルギーネットワークの構築など新たな課題については、組織の改編や充実を含め、推進体制のあり方について検討する。
6	都市基盤の更新に合わせて、防災・減災の観点から、計画的な公共投資に取り組むべき。	冬期間の災害に備えた防寒対策など、札幌ならではの防災対策にも積極的に取り組んでいく。また、自立分散型エネルギーネットワークの整備など、災害に強いまちづくりを進める。
7	戦略ビジョン策定後も市民や企業と目標・課題を共有し、目標を実現する取組を行うべき。	市民向けのフォーラムの開催や、情報提供の場を継続的に設けることにより、市民と目標・課題の共有を図っていく。ビジョンの進捗状況についても、適宜検証しながら、その状況について市民に公開する。

3. 総務委員会(H25.1.25)におけるご意見

No.	ご意見の概要	ご意見に対する具体的な対応状況
1	人口減少を抑制していくための心構えを明確に打ち出すべき。	第3章「私たちが目指す札幌市の将来」のリード文において、「私たちは一丸となって、今後見込まれる人口減少の緩和に努める」との文言を追記した【ビジョン編冊子28ページ】。
2	「子どものボランティア活動への参加促進」とあるが、子どもの本分である学びや遊びを軽視し、負担を増やすことになるのではないか。	「子どものボランティア活動への参加促進」の表記を「子どもがボランティア活動に参加しやすい環境づくり」に修正した【ビジョン編冊子47ページ】。
3	子どもたちからの意見は聞きっぱなしにするのではなく、子どもたちに意見の反映結果をフィードバックしていくことが重要である。	子どもからの意見の反映状況を解説した資料を作成し、今年度中に全小中学校等に送付する。
4	パブリックコメントの実施で終わりというのではなく、継続的な周知の機会を設け、市政への関心を持つ層を広げていくことも必要。	子ども向けや大人向けなど、ビジョンの内容をコンパクトにまとめたパンフレットを作成し、周知に活用する。
5	支援や見守りが必要な方に対しては、行政の果たす役割が重要になる。	第4章「まちづくりの基本目標」において、高齢単身世帯の増加に対応した見守り活動や、支援を要する市民への相談・支援体制の充実などを掲載している【ビジョン編冊子47ページ】。

4. 総務委員会(H25.2.22)におけるご意見

No.	ご意見の概要	ご意見に対する具体的な対応状況
1	今後、更新需要が発生する公共施設の更新や再配置について、市民の声を反映しながら進めていくべき。	第4章「まちづくりの基本目標」において、市有建築物の効果的・効率的な配置の推進を掲載している【ビジョン編冊子47ページ】。今後は有識者の専門的な見地からの検討とともに、市民意向も踏まえながら、基本的な方針の策定を進めていく。